

安全・安心・住みよいまちづくり

ネットワーク

第11号

発行日 平成22年12月15日

発行 白石地区
ネットワーク協議会

責任者 情報交流部会長
木村 幸男

札幌市白石区本通1丁目南2-32 電話 860-1431(白石会館内)



第3回まちづくり ふれ愛音楽会開催

● 白石地区ネットワーク協議会 情報交流部会 副部会長 大赤見 博

白石地区ネットワーク協議会「情報交流部会」と白石地区連合町内会が主催する「第3回まちづくりふれ愛音楽会」は、去る10月2日(土)白石中学校体育館を会場に開催され、大盛況の中で終わることができました。

「まちづくりふれ愛音楽会」は今回で3年目を迎えることになり、今年の出場校をプログラム順に紹介しますと、「南白石小学校合唱団」、「南郷小学校金管バンド」「白石小学校スクールバンド」「白石中学校吹奏楽部」「札幌白陵高校吹奏楽部」の5校となります。

「南白石小学校合唱団」は4年前 全国大会に出場した実力校で「ふれ愛音楽会」には初めての参加となります。

今回の音楽会の一番のハイライトは白石中学校吹奏楽部が、9月2日「キタラ」で行われた吹奏楽コンクール全道大会に札幌地区を代表して出場し、見事「金賞」を獲得したことでした。



■ 全国大会に出場する白石中学校吹奏楽部

その結果、8年ぶりに全国大会の出場が決まり、「吹奏楽の甲子園」と言われる東京の「普門館」での演奏が決定した直後の音楽会でした。

演奏の合間の時間で、中学校、高校の生徒の中から自分たちのクラブにいる、この地域の出身校の生徒を紹介する場面がありました。この地域の小学校から地域の中学校へ、そして高等学校へと進んでもなお吹奏楽を続けている生徒が多いこと、そして、音楽を通して何かを受け継がれていることに、将来への明るさといったものを感じ取れたものです。



■ 初参加の札幌白陵高校吹奏楽部の演奏

初参加した白陵高校吹奏楽部は、部員が少なくても関わらず、白陵高校の先生の一人が応援演奏に入るなど、歴史は浅くても温かい雰囲気での演奏で将来が楽しみです。

出場した5校はどの学校も初秋の好天気の日にはふさわしい、さわやかな音楽を地域の人々に聞かせてくれました。

防災訓練： Part.1

平成22年度
白石消防団による消防総合訓練大会・
5単位町内会も参加

● 中央第一町内会 会長 浅沼 英樹



■ 5単位町内会合同バケツリレーの風景

実施日：平成22年6月19日（土）
場 所：白生公園
参加者：70名（5単位町内会）

白石消防団（本部7、分団約200名）が参加し、災害の発生時に備え日頃から各種実技訓練を披露、当日は各団員の緊張感、見学する人の緊張感が満ち溢れ、あちらこちら、大きな声援が聞えました。また、日頃の消防団員の活動など理解された事と思います。

消防団訓練と並行して、5単位町内会中央第一・中央第二・中央第三・中央第四・中央第五60名程集まり、バケツリレー、AED講習、消火器訓練、など各々実技訓練が引き続き行なわれました。今後も色々な機会に参加し地域全体の防火、防犯、意識を高めていきたい。

.....

防災訓練： Part.2

防災訓練実施
「南郷友和会」

● 南郷友和会 防火防犯部長 今野 秀雄



■ 子どもたちによる消火器訓練風景

実施日：平成22年10月17日（日）
場 所：たんぼぼ公園
参加者：62名

白石消防署の応援により（南郷友和会）で防災訓練が行なわれました。

当日白石消防署から警防課三係10名の職員の派遣がありました。また、日曜日とあって子どもの参加者が多く目立ちました。当日は、2班に分かれ実施、バケツリレー、AED講習、消火器訓練（防災器材の取り扱い）等署員から実技訓練が説明されました。特に心肺蘇生法とAEDの参加者より、いざ災害時に指導の通り、使えるのか不安の声もありましたが、お互いの助け合い応援が必要ではないかと思っています。

連町環境衛生部研修会について

「ごみ有料化後の1年を ふりかえって」

● 環境衛生部長 岩澤 昌策

9月29日（水）白石会館に於いて上記のテーマを元に研修会が開催されました。参加者は白石連町傘下の23町内会長と環境にかかわる部長ほか、役員一同60名が日頃苦労している問題であり熱心に聴講した。講師は、ごみ収集の第一線にある白石清掃事務所長高橋道治氏、普及担当係長佐藤順二氏の他ごみパトロール隊員2名も参加した。

ごみ有料化は、昨年7月1日全市一斉にスタートしたが当初、戸惑いもあり試行錯誤の連続で分別が進まず、収集漏れが発生、カラス被害等ごみステーション周辺住民の怒りとなった。問題の主因の一つとして一般住宅と共同住宅〔アパートと一部マンション〕との共用が大きな原因であり、抜本策として此の分離が急務となった。

この具体策としてごみパトロール隊の強力な支援の元に各町内会役員が共同住宅オーナー、

或いは管理者と専用ステーション設置に粘り強く交渉、説得を行なった。白石連町管内には850ヶ所以上のステーションがあり、その背景も千差万別であるが一年経過後「専用」「共用」の分離が進んでいる事は心強い事である。

然し一部心無い人が無差別投棄し、ステーションをあらしている現実もあり、油断はならない。

今後は忍耐強く地域、関係機関の強力を得てクリーン白石実現を目指したい。



◀ スライドで熱心にごみ問題に聴講している



▶ 岩澤環境衛生部長の挨拶

平成22年度 自治組織代表者研修会はじまる

● 連町総務副部長 米山 一政

去る、10月28日（木）札幌フローラに於いて、平成22年自治組織代表者研修会が行なわれました。

テーマ【1】「新ごみルール実施状況」が札幌市の環境事業部より説明がありました。

【2】「ごみ問題のごみステーションの浄化」について、既設ごみステーションの廃止と戸別持ち回りステーションの徹底化を図った、町内会全体の活動状況をパワーポイントを使い、下白石東町内会山本茂樹会長が発表されました。

【3】【課題と地域の取組みについて】意見交換を

実施、白石地区より地下鉄沿線に位置する「南郷友和会木村会長」がごみステーション取組み状況を発表基本的に、下白石東町内会と同じ方法であるが町内会全体の取組みでなく、各班毎に分けて取り進めた状況説明でした。これからも綺麗なまちづくりを合言葉に共同住宅専用のステーション取組への理解と、班単位の取組みを続けて行きたいです。



■ 自治組織代表者研修会意見交換風景

「社協・福まちだより」 最優秀賞の快挙！

● 福祉のまち推進センター 委員長 中澤 迪也

札幌市社会福祉協議会では、各地区の福まち活動の一層の活性化を図ることを目的に、平成21年度から「札幌市社協・福まち（広報誌部門・活動写真部門）コンクール」を実施することになりました。

白石地区では長年にわたり年1回「社協・福まちだより」を発行してまいりましたが、昨年、事務局のメンバーが一新したことから、木村幸男編集長、金岩恵栄副編集長を中心に内容の大幅変革に取り組んできました。

具体的には、ページ数も従来の4ページから8ページと増やし、カラー写真を多く取り入れ取り上げた話題も、福まち主催の事業は勿論のこと「子育て」から「老人クラブ」までと幅広いものとなりました。

今年の夏、木村編集長から「今年の第28号をコンクールに出しましたよ」との言葉に、私自身は「少し時期尚早ではないか」と考えていました。

ところが、8月末に区社協の佐藤朋紘事務局次長さんから「白石地区が最優秀賞ですよ」の言葉を聞き最初は驚き、後からジワジワと喜びの感情が湧いてきました。

9月13日、「かでの2・7」で表彰式があり、私と栗山事務局長が出席しました。驚いたことに同じ広報誌部門で北東白石地区が「優秀賞」、東札幌地区が「佳作」を獲得しており、白石区内のレベルが高いことを実感しました。



■ 「最優秀賞」の賞状と編集スタッフ一同

第7回白石地区 【いきいき健康まつりを終えて】

● ネットワーク協議会 体育振興部会 部会長 坪田 敏男

今年で第7回目を迎えた白石地区いきいき健康まつりも、平成22年9月5日（日）、会場・白石小学校グラウンド、参加者290名が集まり各他単位町内会様始め、白石地区ネットワーク協議会の各種関連団体様の大変なご努力があり、盛会で終了させて頂きありがとうございました。

本年も各種他行事と重なっておりましたが皆様の力強いご支援とご協力により、290名余のご参加を賜り、楽しい思い出の一日を送って頂いた事と思います。

また、宮川白石区長様にもご参加頂き、ご挨拶と激励を賜り花を添えて頂きました。「保健センター」「歴史を語る会」「白石バラの会」「白石交通安全実践会」等々の方々にも、積極的なご協力により無事故で終了することが出来あらためて、ご協力賜りましたすべてご関係の皆様へ、心より感謝を申し上げますと共に、来年もまた、お元気で楽しく集い、第8回目を迎えられます様期待をしたいと思います。



◀ 宮川白石区長の挨拶



▶ 会場でのいきいき健康まつり風景



白石地区防災研修会を終えて

● 白石地区ネットワーク協議会 防災部会
部会長 中上 俊雄

平成22年11月25日(木)午後6時より白石会館において連合町内会から40名、関係団体から10名、計50名の参加をいただき、平成22年度「白石地区防災研修会」が開催され、最初に白石地区連合町内会 黒澤昌保会長からご挨拶をいただきました。

第1部の「白石少年消防クラブ活動報告」です。中央南親交会の防災部長 宇佐国雄氏の指導のもと、常日頃から地道な活動を続けている白石少年消防クラブに所属する子どもたちは、実技規律訓練の一つである「ロープ結び訓練」を隊長の指揮のもと、一斉にきびきびと行ない実に小気味よい訓練を繰り返しました。

当日は16名の男女児童の訓練でしたが、白石には現在26名の隊員がいるそうです。このような少年たちを見まして大変心強い気持ちになりました。なお、白石少年消防クラブは白石小学校の児童が対象で希望すれば入隊できるそうです。



■ 白石少年消防クラブのロープ訓練風景

第2部は防災ビデオの上映です。「震度7阪神大震災の教訓」、副題は【グラッときたらーいのちを守る防災術】でした。グラッときたらまず自分自身の身の安全を守ることを第一とし、次に周囲の人々の状況を把握して、それから救助に努めることが大切となります。

第3部は「非常食の試食体験」です。これには

中央東振興会の女性部の方々に大変お世話になりました。参加者全員が準備された炊飯の非常食を試食しました。非常食とは思えないほどおいしく出来上がっていました。女性部のみなさんご苦労さまでした。

最後の第4部は「心肺蘇生法について」です。講師は白石消防署警防課消防二係 松野 晃氏にお願いしました。松野氏は人形のダミーを使って「心肺蘇生法」を丁寧に説明してくれました。

心肺蘇生法の一つである「AED」は機器が普及したことから、音声による指示により誰でも取り扱うことができるとのことでした。

倒れている人を発見した時、「大丈夫ですか」との反応の確認から、反応がなければ周囲の人に「119番に電話して救急車を呼んでください。AEDを持ってきてください」と助けを求めます。

救急車が到着するまでの6分間～7分間の間に「気道の確保」「呼吸の確認」を行い、呼吸がないと確認すると「人工呼吸」と「胸骨圧迫(心臓マッサージ)」を交互に行ないます。



■ 心肺蘇生法の説明をする白石消防署職員

「災害は忘れたころにやってくる」ということわざがあります。また「備えあれば憂いなし」とも言われています。一人一人が防災意識を高め、地域の安全安心を目標にするには、今回のような研修会は必ず必要だと痛感しました。

平成22年度 社会福祉研修会 医療講座

● 保健福祉部会長 長浜 正

平成22年7月30日（金）午後6時30分から白石会館2階で平成22年度「社会福祉研修会」が開催されました。

今年度は「熟年期からの気になる体のサイン～やさしい血管のお話」をテーマに「恵佑会札幌病院 明神 一宏（みょうじん かずひろ）」医師を講師に、85名が参加。

講義内容は閉塞性動脈硬化症(ASO)について、スライド写真を交え症状や治療、日常生活の注意点等について分かりやすい説明があり、参加者は自分自身の生活を振り返ることができました。日常生活の注意点等については①自分の病気を知る②野菜をたくさん食べる③北海道の美味しい物（ラーメン・筋子・タラコ等）は塩分が多く、食べ過ぎは身体によくない④タバコは止めよう⑤街中は無料の「ジム」と思ってデパート巡りでもよいので、身体を積極的に動かそう等日常気をつける事を講師の体験談を交え具体的に、何度も繰り返し強調されていました。

ユーモアを交えてのお話で、参加者の笑いも絶えず、終了後わかりやすく楽しい講話であったとの感想が多くきかれました。

今回は白石区保健福祉部と共催し、健康子ども課地域健康づくり主査西澤さん、健やか推進係相馬さんのお二人にはお手伝い頂きお世話になりました。



■ パワーポイントで講義する明神一宏先生



平成22年度 パソコン基礎講座始まる

● 情報交流部会 副部会長 寿崎キヨ子

情報交流部会では、「広報誌ネットワーク」、「まちづくりふれ愛音楽会」、「パソコン基礎講座」と年間3つの事業を実施しています。

講座の目的は、「初心者を対象に基本的な操作事項を習得し、パソコンに親しみを持ってもらう。」という内容で活動しています。

今回の「パソコン基礎講座」は、9/10から11/12迄実施中です。毎回抽選する程の応募者があり高評ですが、パソコン台数、場所、講師、時間等様々な要因で、受講人数が1教室10名で、午前と午後班に分け20名と限られている為、抽選で、当選された人が受講できます。

私は、スタッフの一員として、お手伝いさせて頂いておりましたが、初心者の中には、パソコンを持っている人、ワープロしか経験がない人、これからパソコンを始めようとする人、様々な人が受講されております。週1回のペースで、10回の受講です。パソコンは「ワード」、「エクセル」、「インターネット」等、はばひろくあり、用語と使い方を覚え、使い慣れれば、満足できると思います。この時期は年賀状の作成に適し、パソコンを活用して、写真、イラスト等を使ってオリジナルな年賀状にチャレンジしてほしいと思います。



▼ パソコン公開抽選会

▲ パソコン 受講風景



つきたての餅を 消防署に

● 共栄第二町内会 青少年部長 横山 礼子

今年も、共栄第二町内会、青少年部の餅つき大会が共栄会館で11月23日（祝）開催しました。

この餅つき大会も、今年で26回目となりましたが、町内会役員も段々と高齢化しつつある中での大変な行事ですが、子供達が楽しく、また期待しておりますので今年も開催しました。

親子併せて約110名位と、手伝いの役員も前日の夕方と、当日の朝早くから、延べ30数名の協力をいただきました。

子供達も各自「あん入りの餅」を作ったり、重い杵を持ち上げての餅つき、出来たてのきなこ餅、納豆餅など沢山食べ、楽しく満足した半日のようでした。



■ 子供たちの楽しい「餅つき」風景

また、出来上がった「あん入りの餅」を代表の子供達がお礼の言葉を添えて、日頃安心して暮らせるために見守り活動をしている消防署へ毎年届けております。数年前迄は、地元交番へも届けておりました。

消防署では職員全員で子供達を迎えて頂き、署長さんより毎年おいしいお餅有り難う、とお礼の言葉とお土産を頂き解散いたしました。



■ 消防署職員へ「餅」を持参した子供たち

子育て「わんぱくサロン」 来年4月から白石小学校ミニ児童会館へ

● 白石地区社協・福まち事務局 事務局長 栗山 文雄

白石地区社会福祉協議会と福祉のまち推進センターでは、現在二つの子育てサロンを開催しています。一つは白石会館の2階を会場とし、平成15年にスタートした「わんぱくサロン」です。二つ目は南郷小学校のミニ児童会館を会場に、平成17年にスタートした「ぼかぼかサロン」です。

この二つの子育てサロンの運営は、地区社協・福まち以外にも白石地区民生委員児童委員協議会、連合町内会、単位町内会、子育てボランティア等の推進で月1回開催されています。

「わんぱくサロン」の会場を平成23年4月から白石小学校のミニ児童会館（白石区本通1丁目北4-1）へ移転できるように関係行政機関並びに白石小学校をお願いしておりましたが、このたび移転が決定しました。



■ 「わんぱくサロン」に参加する乳幼児親子

現在使用している「白石会館」は地理的には申し分ないのですが、会場が2階ということから、乳幼児を抱いたお母さん方には、階段の上り下りに多少不便な面もありました。

「わんぱくサロン」には、毎月約20組の0歳から就園前までの乳幼児と母親が来館し、自由遊び、読み聞かせ、体操、製作等を中心としたサロンを運営しています。

白石地区社協・福まちでは、今後とも子育て支援事業を休むことなく継続してまいりますので、一層のご支援・ご協力をお願いします。

お知らせ

白石区民生委員児童委員 主任児童委員 一斉改選

平成23年白石区民生委員児童委員並びに主任児童委員の一斉改選が行なわれました。

選出された白石地区の役員は次の通りです。

役員名	氏名
会長	栗山 文雄
副会長	佐藤 昌幸
副会長	長沼 恵美子
会計	村田 和幸
書記	木村 幸男
書記	河谷 光枝
巡回相談担当	武田 清和
巡回相談担当	田村 潔
監事	藤田 善昭
監事	金岩 恵栄

専門部会	部長
地域福祉部	奥村 正
高齢者福祉部	須貝 賢
障害者福祉部	木戸 修
児童家庭福祉部	上杉 清
生活安心福祉部	山下 禮子



行事予定

平成23年

- 1月5日(木) 於：札幌フローラ
白石区新年互礼会
- 1月7日(金) 於：アサヒビール園
白石地区合同新年交礼会
- 1月13日(木) 於：南郷小グラウンド
雪であそぼう in 南郷
・主催 ネットワーク協議会
- 2月11日(金) 於：白石会館
カルタ大会
・主催 青少年育成委員会
- 2月18日(金) 於：白石会館
白石地区青少年部研修会
- 4月16日(土) 於：アサヒビール園
白石地区連合町内会定期総会
- 4月20日(水) 於：白石会館
白石地区青少年育成委員会総会
- 4月22日(金) 於：区民センター
ネットワーク協議会定期総会
- 4月27日(水) 於：白石会館
白石警察署少年補導員
白石支部総会
- 5月11日(水) 於：白石会館
白石地区社会福祉協議会総会
- 5月下旬 於：白石会館
白石地区青パト総会

編集後記

第11号広報誌発刊する事が出来ました事、連町、会長はじめ、副部会長のお陰と感謝しております。今誌は特に「まちづくりふれ愛音楽会」の会場校としてお借りしてありました、白石中学校吹奏楽部が、全日本吹奏楽部コンクールで初めての金賞に輝くという快挙を成し遂げました。協賛に協力した白石地区の人々の喜びも大きかったはずです。

今後とも皆さんの情報をお寄せ下さい。これらは雪も降り厳しい冬季間に入ります、お体に充分気をつけて下さい。

情報交流部会一同